

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

新しい安心をかたちに

輸出国数
70カ国

② 中長期の経営戦略

1. 国内既存事業の強化

戸建・集合住宅のリニューアル需要拡大に対応。集合住宅はリニューアル受注促進を強化し、営業支援体制を継続。

3. ケア市場の成長

高齢者施設向け「見守り支援」ニーズに対応。自治体補助金活用ソリューション提案でリニューアル売上を拡大。

2. 宅配ソリューション拡大

「Pabbit」の市場浸透に向け、宅配事業者・生活サービス事業者との連携強化。再配達問題解決に取り組む。

4. 海外展開の強化

北米・欧州中心に加えシンガポール中心の販売体制強化。アジア・オセアニア地域のケア・業務市場開拓。

③ 対処すべき課題

① 市場環境への対応

- ・ 為替変動や欧米経済環境の変化に注視が必要
- ・ 米国関税政策動向の継続的監視

② 国内ケア市場の課題

- ・ 病院新設着工件数減少傾向が継続予測
- ・ 介護従事者不足による市場環境悪化懸念

③ 開発コスト最適化

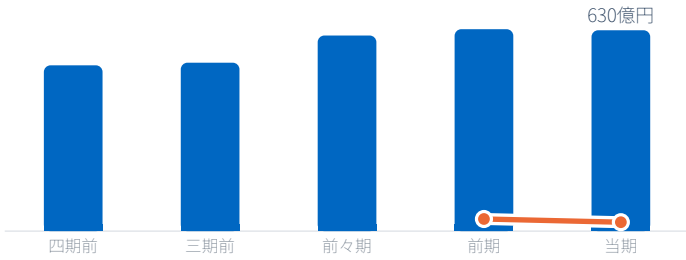
- ・ 複数大規模研究開発案件進行中で研究開発コスト高止まり
- ・ 開発リソースの効率的活用が課題

面接で使えるポイント

- ・ 1948年創業以来、インターホン中心の通信機器専門メーカーとして、開発から販売・アフターサービスまで一貫対応。
- ・ 「コミュニケーションとセキュリティの技術で社会に貢献」をビジョンに、約70カ国への輸出でグローバル展開を推進。
- ・ 2024年9月「PATMOα」にPabbit機能を標準搭載。子会社化を通じ開発力強化で新製品開発に注力。

証券コード 6718

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
630億円営業利益率
4.4%財務健康度
67点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 58.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
708万円

電気機器内 111位/225社

平均年齢
40.9歳

電気機器内 180位/225社

平均勤続
15.3年

電気機器内 129位/225社

女性管理職
1.3%

電気機器内 170位/182社

男性育休
83.9%

電気機器内 78位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: アイホン(株)【6718】：決算情報

